

## 保証書

このたびは野菜スープメーカー「スープリーズ」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本保証書はお買い上げ日から保証期間中にお客様の正常な使用状態で万一故障が発生した場合に、下記の保証内容により無料修理を行うことをお約束するものです。

保証期間	お買い上げ日より <b>1年</b>
品名・型式	野菜スープメーカー <b>スープリーズ ZSP-3</b>
お買い上げ日	年 月 日
お客様	□□□ □□□□ ご住所
	フリガナ
	お名前 様
	電話 ( )
お買上げ店	住所
	店名
	電話 ( )

※お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので御了承ください。

### 保証規定

- 取扱説明書の記載内容に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合、お買い上げ後1年間無料で修理いたします。
- 修理ご依頼品のご持参およびお持ち帰りの場合の交通費等、また発送料および諸経費はお客様のご負担になります。  
※ご郵送される場合、キズが付かないようにやわらかい紙や布で包んでダンボール箱に入れてください。
- 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
  - 本保証書のご提示がない場合。または、本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店様名のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
  - ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
  - ご使用中に生じたキズ、汚れ等外観上の変化。
  - 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変および盗難等による故障および損傷。
  - 落下等不注意、ならびに乱暴な取扱いによる故障および損傷。
  - 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障および損傷。
  - 一般家庭以外（たとえば業務用等）にご使用された場合の故障および損傷。
- 本保証書の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
- 本保証書は、再発行いたしませんので、大切に保管しておいてください。  
※本書の内容ならびにご不明の点は、お買い上げの販売店またはゼンケンサービス係までご相談ください。

修理メモ

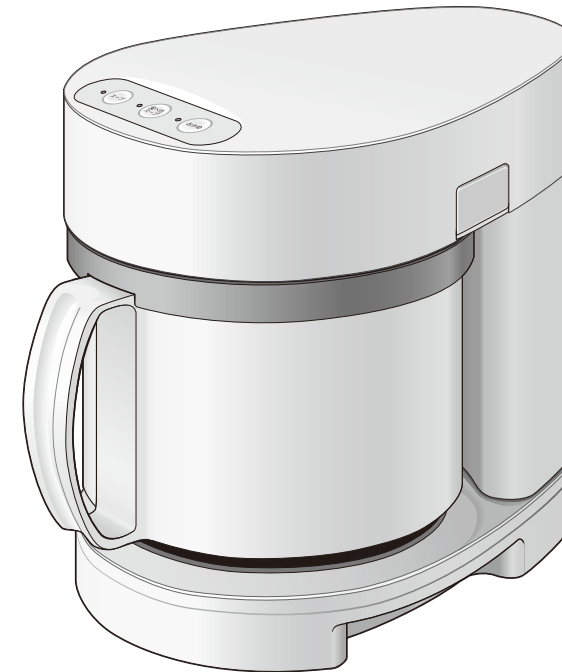
野菜を食べよう。かんたんスープメーカー

# souplease

スープリーズ ZSP-3

## 取扱説明書

家庭用 / 保証書付  
(日本国内100V専用)



意匠登録番号：第1356133号  
商標登録番号：第5162492号

### 目次

安全上のご注意	1
各部の名称 / 付属品	4
スープの作り方	5
おかゆの作り方	8
使用後の洗浄とお手入れ	11
困った時に	13
調理状態 / エラー表示	14
交換用部品について	14
製品仕様	14
保証書	裏表紙

このたびは野菜スープメーカー「スープリーズ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、この取扱説明書は保証書と一緒にありますので大切に保管してください。

株式会社 **ゼンケン**

☎ **0120-135232**

http://www.zenken-net.co.jp

東京 〒112-0002 東京都文京区小石川1-28-1 TEL.03-5840-8270  
大阪 〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-23-15 TEL.06-6304-9535  
福岡 〒810-0074 福岡市中央区大手門2-5-10-101 TEL.092-738-8668

23141Y0208A1

株式会社 **ゼンケン**

# 安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

- ここに示した内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
- 注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度によって「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

## 図記号の意味



この記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。  
△の中や脇に具体的な注意内容が表示されています。



この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。  
○の中や脇に具体的な禁止内容が表示されています。



この記号は、行為を強制したり指示する内容を示すものです。  
●の中や脇に具体的な指示内容が表示されています。



## 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う危険性が想定される内容を示します。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
感電やけがの原因になります。



交流100V以外では使用しないでください。  
故障・感電・発煙・発火の原因になります。



定格10A以上のコンセントで単独で使用してください。  
他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火の原因になることがあります。



修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。  
異常動作・火災・感電・ケガの原因になります。修理はお買い上げの販売店にご連絡ください。



電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。  
感電・ショート・発煙・発火の原因になることがあります。



お子様にさせたり、お子様の手の届くところでは使わないでください。  
誤って触れてケガややけどをする恐れがあります。



電源プラグは、プラグおよびプラグ取り付け面にほこりが付着している場合はよく拭き取ってください。  
発煙・発火の原因になることがあります。



カッターの刃は鋭利ですので、直接手を触れないでください。  
ケガの原因となります。



容器フタの蒸気口に顔や手を近づけないでください。  
蒸気や吹きこぼれによりやけどをする恐れがあります。



調理中・調理直後の容器・ヒーターは熱くなっていますので、手を触れないでください。  
やけどをする恐れがあります。



電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。  
電源コードが破損し、火災・感電の原因になることがあります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい場合は使用しないでください。  
感電・ショート・発煙・発火の原因になることがあります。



電源コードを加熱部分に近づけたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。  
電源コードが破損し、火災・感電の原因になることがあります。



## 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う危険性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。



水および材料の量は、「レシピブック」を参考に正しくセットしてください。  
多い場合は吹きこぼれの原因となり、やけどする恐れがあります。



連続使用はしないでください。  
ヒーターが冷えるまでお待ちください。  
連続使用するとヒーターの過熱を防止するため、エラーが表示され調理できません。(P14参照)



本体に水をかけたり、水に浸したりしないでください。  
ショート・感電・故障の原因となります。



使用後は電源プラグを抜いてください。  
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。



調理の際には必ず水を入れてください。  
お湯を入れると吹きこぼれてやけどする恐れがあります。また、本体が異常加熱し故障の原因となります。



電源プラグを抜くときは、コードは持たず、必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。  
感電やショートして発火することがあります。



調理後は、早めにお手入れをしてください。ただし、ヒーターは十分に冷えてからお手入れをしてください。  
乾いてしまうと取れにくくなる場合があります。



平らで安定した場所に置いて使用してください。ふきんやタオルの上に載せて使用しないでください。  
誤作動や転倒しやけどする恐れがあります。



調理中や容器内に材料が入った状態で、本体を移動したりしないでください。  
誤作動や容器が外れ、やけど・けがをする恐れがあります。また、吹きこぼれによりやけどする恐れがあります。



お手入れのあとはよく乾かしてください。  
濡れたままにしておくと、においが付くことがあります。



容器は直接、火にかけないでください。  
あたためるときは、別の容器に移してください。



食器洗い乾燥機での洗浄は避けてください。  
樹脂部分が高温で変形することがあります。

# 安全上のご注意

## 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う危険性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

**蒸気口をふさがないでください。**  
ふきこぼれや、やけどの原因となります。

**できたスープを再度、本体にセットして使用しないでください。**  
ふきこぼれやこげつきの原因となります。

**本体をロックさせるときは、必ず容器と容器フタをセットしてください。**  
故障の原因となります。

**本体のすきまから物を入れたり、差し込まないでください**  
やけどや感電の恐れがあります。また、本体の故障の原因となります。

**本体をロックさせるときは、本体可動部の中央部を押してください。**  
(P6、P9参照)  
前方や外側を押すと故障の原因となります。

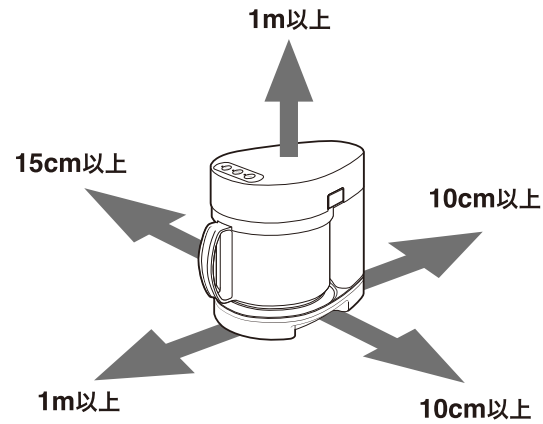
**本体を持ち運ぶときは必ず本体が冷えた状態で本体取手部を両手で持ってください。**  
他の部分を持ちますと、故障の原因となります。

使用する場所については、以下の点に注意してください。

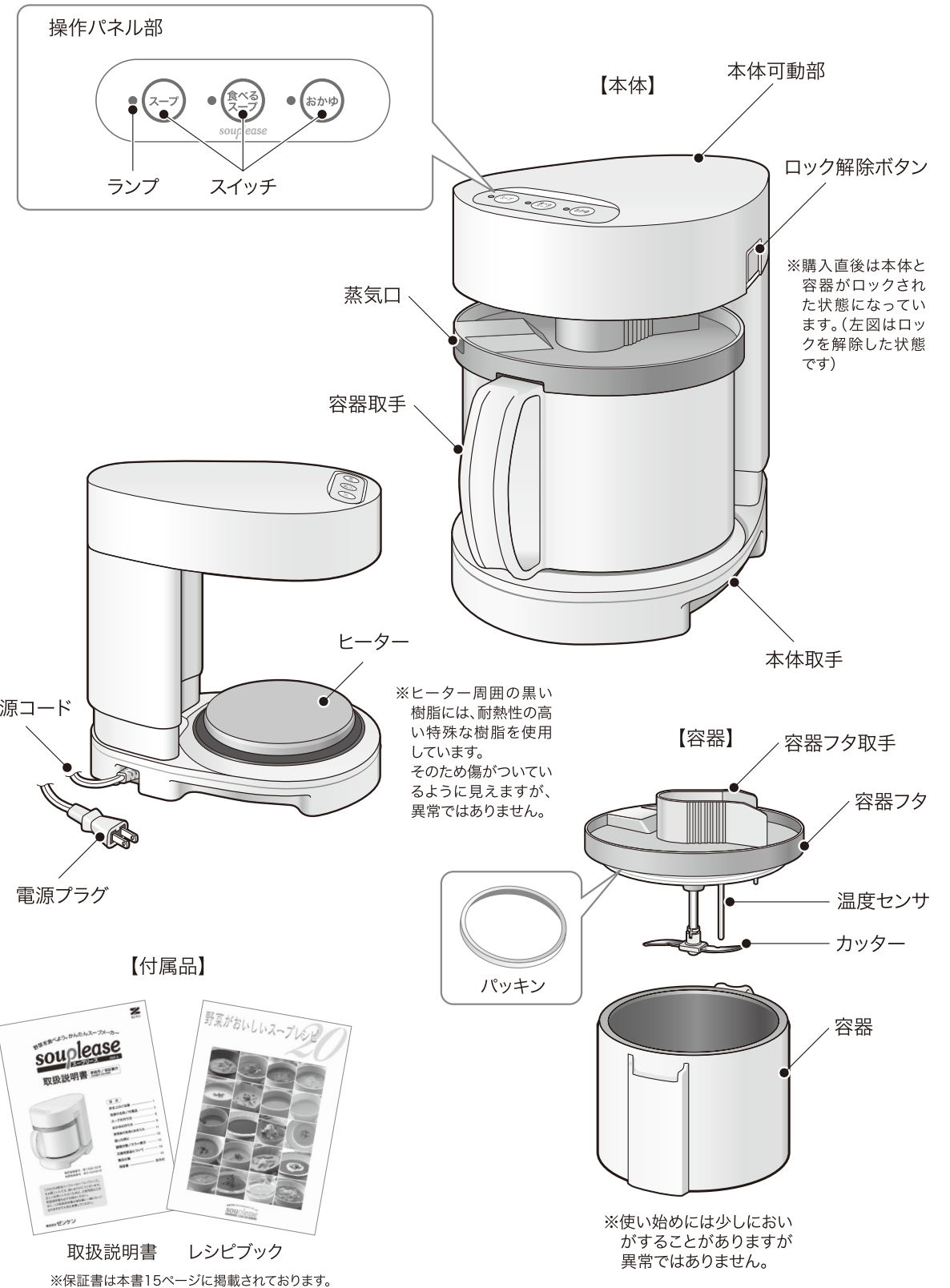
**本製品を使用する際、周囲に物を置かないでください。(右図参照)**

**ガスコンロ等他の熱源から離してください。**  
熱で本製品が変形する恐れがあります。また、故障の原因となります。

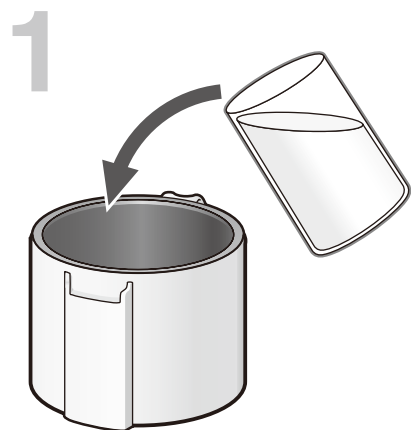
**まれにスープが吹きこぼれる恐れがありますのでシミや変色の恐れがある物の上で使用しないでください。**



# 製品各部の名称/付属品



# スープの作り方 (スープ・食べるスープ)



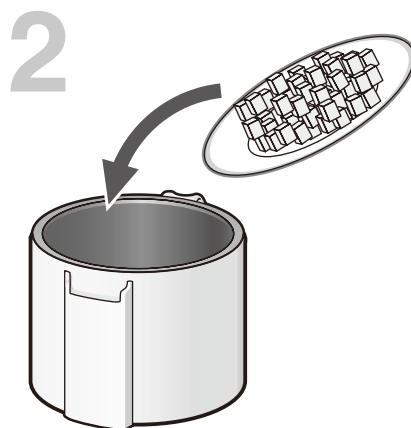
## 容器に水を入れます。

(同梱包のレシピブックを参照してください)

食材を入れた際に、水かさは800cc以下(容器内のMAX表示以下)になるように調節してください。(1cc=1ml)



- お湯は入れないでください。また、牛乳や油脂分の多いものは入れないでください。(塩、牛乳や生クリームはスープの出来上がり後、食べる時の味の調えとしてお使いください)
- 必ず水は、350cc以上入れてください。水が少ないと調理中にエラーとなり、終了する場合があります。また、容器のこげつきの原因となります。



## 材料を入れます。

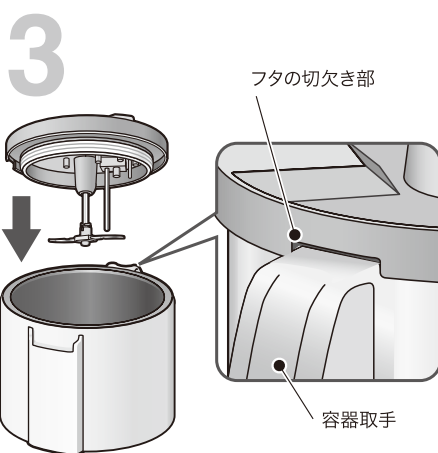
材料の野菜(玉ねぎ、カボチャ、にんじんなど)を1センチ角にカットし、容器に入れます。(切り方はレシピブックを参照)

スープの素を加えます。(塩などの調味料は出来上がり後に加えてください)

レシピは4人分を目安としています。分量を少なくする場合は、レシピブックを参照してください。



- 冷凍されている食材は、完全に解凍してからご使用ください。
- 野菜の種類やカットの大きさにより、芯が残ったり、粉碎されることがあります。
- にんじんなど、硬い食材は芯が残ったり、粉碎されないことがありますので、小さくカットするか、電子レンジで加熱したものを使用してください。

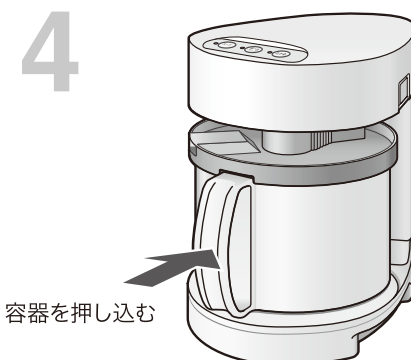
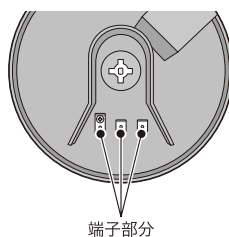


## 容器に容器フタをセットします。

パッキンとカッターが取付けられていることを確認し、容器フタの切欠き部を容器取手に合わせて押し込んでください。



- 容器フタの切欠き部と容器取手が合っていないと本体に取付後、正常にロックできないことがあります。
- 容器フタ上部の端子部分(四角い金属部分)に水滴や汚れが残っていると、正常に動作しない場合があります。十分に乾燥させ、汚れを拭き取ってからご使用ください。



## 材料を入れて容器フタをした容器を本体に取り付けます。

容器の底面やヒーターに水滴や食材、ゴミなどがついていないことを確認してください。

本体に容器をまっすぐ押し込みます。(容器フタの位置が合っていないと容器を本体にセットできません)



- 容器の底面がヒーターと密着していることを確認してください。水滴やゴミが付着していたり、容器の底面が、ヒーター面から浮いていると調理中にエラーとなり終了する場合があります。



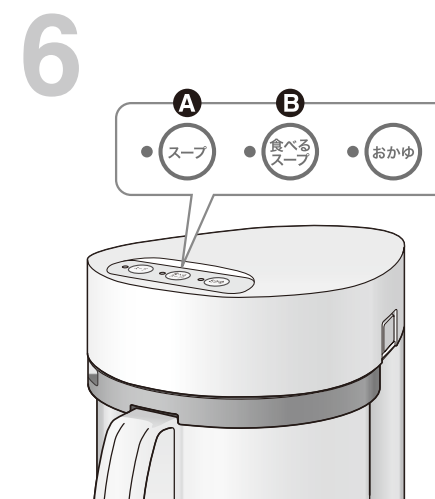
## 電源プラグをコンセントに差し込み、本体可動部を下に押し込んで本体をロックします。

本体可動部は、「カチン」と音がするまで確実に押し込んでください。(ロックが不完全な場合、調理中にロックが外れる場合があります)

操作パネルのランプ3個全てが点灯し、「ピー」という電子音が確認できれば、準備は完了です。



- 容器の位置がずれていると、本体可動部を押し下げることができなかったり、ヒーターの加熱ができないことがあります。
- 本体可動部を押し込みにくい場合は、容器の位置を少し左右に動かしてください。(本体と容器フタの接続部分が合っていないと、押し込めない場合があります)
- カッター軸の位置により容器のセットが出来ない場合があります。その場合はカッター軸を少し動かしてからセットしてください。



## スープスイッチを押して調理を開始します。

「スープ」の場合は、左側のスイッチ **A** 「食べるスープ」の場合は、中央のスイッチ **B** を約1秒押ししてください。(「ピー」という電子音と同時にスイッチの左側のランプが点灯します)

ヒーターが加熱し、その後しばらくしてからカッターによる攪拌が始まります。(攪拌の前には電子音が「ビッピッ」と鳴ります)

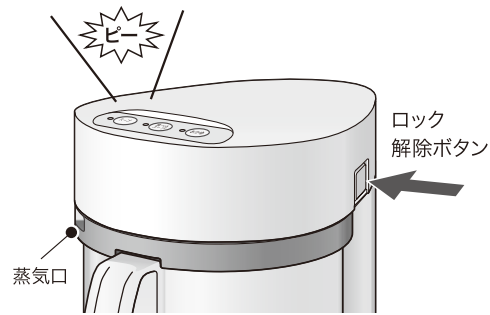


- カッターが作動すると本体が振動しますが異常ではありません(材料により異なります)。またカッターは作動する直前、数回短く回転しますが、異常ではありません。
- 調理中は本体に触れないでください。
- スイッチを間違えて押ししてしまった場合、調理開始後30秒以内であれば、スイッチを再度押すことで調理を中断させることができます。その後、正しいスイッチを押してください。
- ロック解除ボタンを押すことで調理が停止されます。

# スープの作り方 (スープ・食べるスープ)

# おかゆの作り方

7



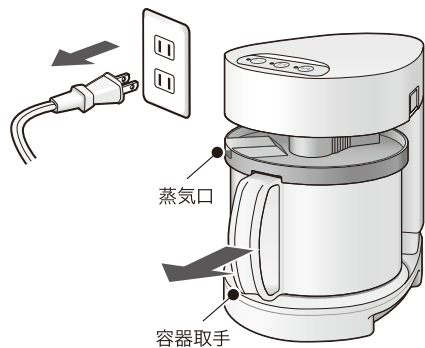
## 調理が終了します。

「ピー」と終了音が鳴って、調理を終了します。終了音が鳴り終わってもランプが点滅し、調理終了をお知らせしています。

「ロック解除ボタン」を押して、本体可動部を上昇させます。(電源が自動的に切れます)

- 「ロック解除ボタン」を押す際は、本体可動部を軽く押さえながら押してください。(「ロック解除ボタン」だけを横から押すと容器から材料がこぼれる場合があります)
- 蒸気口には触れないでください。蒸気が出てくる場合があります。

8



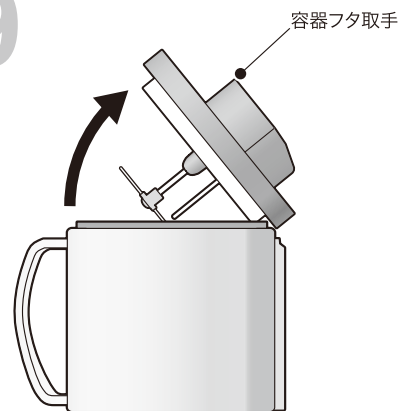
## コンセントから電源プラグを抜いてください。

## 容器取手を持ち、少し持ち上げながら静かに引き出します。

容器を平らな安定した場所に置きます。

- ヒーターと容器の底面は熱くなっていますので手を触れないでください。
- 蒸気口からスープや蒸気が吹きこぼれる場合がありますので、注意しながら容器を取り出してください。
- 取り出した容器の底面は熱くなっていますのでテーブルクロス等、熱に弱いものの上には置かないでください。また、お子様が手を触れないよう十分注意してください。

9



## スープをおたまで器に移します。

容器取手と容器フタ取手を持ち、容器フタをゆっくり取り外します。(開けにくい場合は左図のように取手側を持ち上げるようにして開けてください。)

スープを器に移す際は、必ずおたまを使用し、茶わんなど耐熱性のある器に移してからお召し上がりください。

お好みに合わせて生クリーム、塩、コショウなどで調味してください。

- 取り外したフタはお子様の手には触れないところに置いてください。
- 容器を傾けてスープを他の器に移しかえることは、おやめください。やけどをする恐れがあります。
- 冷めたスープをあたためる場合は、容器を直接火にかいたり、電子レンジを使用しないでください。
- 容器フタを開ける時に、パッキンが外れることがあります。異常ではありません。

1

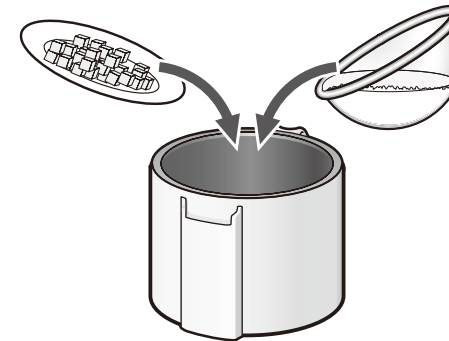


## お米を水に浸します。

よく研いだ生の米を約1時間(夏場は30~40分)程度水に浸します。水の量はレシピブックを参照してください。

- ゴミなどが入らないようにしてください。
- 容器の中でお米を研がないでください。
- お米を浸した水は捨ててください。

2



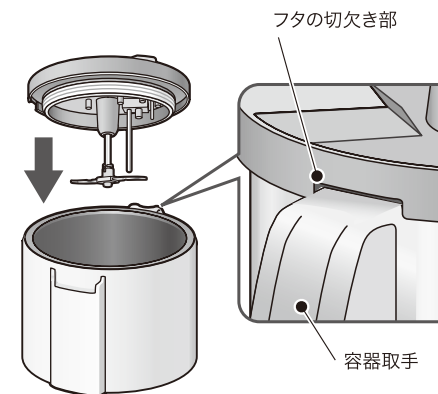
## 材料を入れます。

レシピは4人分を目安としています。分量を少なくする場合は、レシピブックを参照してください。

塩やスープの素などの調味料は出来上がり後に加えてください。

- 冷凍されている食材は、完全に解凍してからご使用ください。
- にんじんなど、硬い食材は芯が残ったり、粉碎されないことがありますので、小さくカットするか、電子レンジで加熱したものを使用してください。
- お米の研ぎ具合の不足や入れる材料により、調理中に泡が吹き出すことがあります。

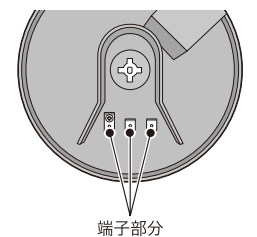
3



## 容器に容器フタをセットします。

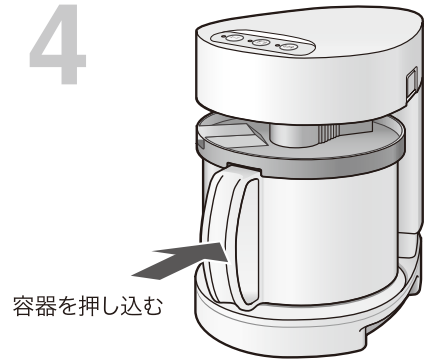
パッキンとカッターが取り付けられていることを確認し、容器フタの切欠き部を容器取手に合わせて押し込んでください。

- 容器フタの切欠き部と容器取手が合っていないと本体に取付後、正常にロックできないことがあります。
- 容器フタ上部の端子部分(四角い金属部分)に水滴や汚れが残っていると、正常に動作しない場合があります。十分に乾燥させ、汚れを拭き取ってからご使用ください。



# おかゆの作り方

4



## 材料を入れて容器フタをした容器を本体に取り付けます。

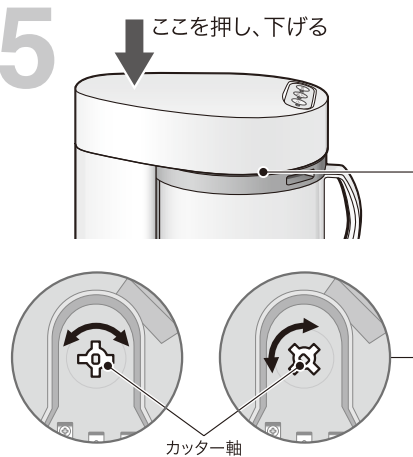
容器の底面やヒーターに水滴や食材、ゴミなどがついていないことを確認してください。

本体に容器をまっすぐ押し込みます。(容器フタの位置が合っていないと容器を本体にセットできません)



- 容器の底面がヒーターと密着していることを確認してください。水滴やゴミが付着していたり、容器の底面が、ヒーター面から浮いていると調理中にエラーとなり終了する場合があります。

5



## 電源プラグをコンセントに差し込み、本体可動部を下に押し込んで本体をロックします。

本体可動部は、「カチン」と音がするまで確実に押し込んでください。(ロックが不完全な場合、調理中にロックが外れる場合があります)

操作パネルのランプ3個全てが点灯し、「ピー」という電子音が確認できれば、準備は完了です。



- 容器の位置がずれていると、本体可動部を押し下げることができなったり、ヒーターの加熱ができないことがあります。
- 本体可動部を押し込みにくい場合は、容器の位置を少し左右に動かしてください。(本体と容器フタの接続部分が合っていないと、押し込めない場合があります)
- カッター軸の位置により容器のセットが出来ない場合があります。その場合はカッター軸を少し動かしてからセットしてください。

6



## おかゆスイッチを押して調理を開始します。

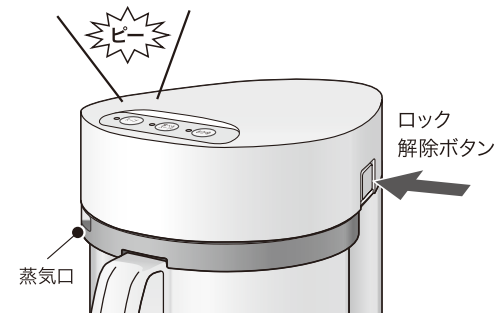
右側の「おかゆ」スイッチを約1秒押してください。(「ピー」という電子音と同時にスイッチの左のランプが点灯します)

ヒーターが加熱し、その後しばらくしてからカッターによる攪拌が始まります。(攪拌の前には電子音が「ピッピッ」と鳴ります)



- カッターが作動すると本体が振動しますが異常ではありません(材料により異なります)。またカッターは作動する直前、数回短く回転しますが、異常ではありません。
- 調理中は本体に触れないでください。
- スイッチを間違えて押してしまった場合、調理開始後30秒以内であれば、スイッチを再度押すことで調理を中断させることができます。その後、正しいスイッチを押してください。
- ロック解除ボタンを押すことで調理が停止されます。

7



## 調理が終了します。

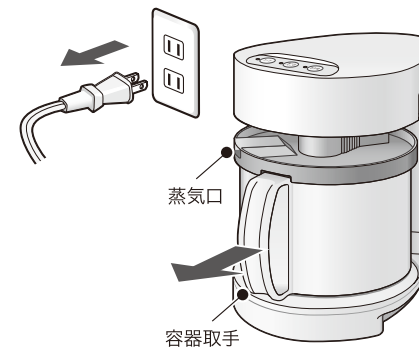
「ピー」と終了音が鳴って、調理を終了します。終了音が鳴り終わってもランプが点滅し、調理終了をお知らせしています。

「ロック解除ボタン」を押して、本体可動部を上昇させます。(電源が自動的に切れます)



- 「ロック解除ボタン」を押す際は、本体可動部を軽く押さえながら押しってください。(「ロック解除ボタン」だけを横から押すと容器から材料がこぼれる場合があります)
- 蒸気口には触れないでください。蒸気が出てくる場合があります。

8



## コンセントから電源プラグを抜いてください。

## 容器取手を持ち、少し持ち上げながら静かに引き出します。

容器を平らな安定した場所に置きます。



- ヒーターと容器の底面は熱くなっていますので手を触れないでください。
- 蒸気口からおかゆや蒸気が吹きこぼれる場合がありますので、注意しながら容器を取り出してください。
- 取り出した容器の底面は熱くなっていますのでテーブルクロス等、熱に弱いものの上には置かないでください。また、お子様が手を触れないよう十分注意してください。

9



## おかゆをおたまで器に移します。

容器取手と容器フタ取手を持ち、容器フタをゆっくり取り外します。(開けにくい場合は左図のように取手側を持ち上げるようにして開けてください。)

おかゆを器に移す際は、必ずおたまを使用し、茶わんなど耐熱性のある器に移してからお召し上がりください。

お好みに合わせて塩などで調味してください。



- 取り外したフタはお子様の手には触れないところに置いてください。
- 容器を傾けてスープを他の器に移しかえることは、おやめください。やけどをする恐れがあります。
- 冷めたおかゆをあたためる場合は、容器を直接火にかかけたり、電子レンジを使用しないでください。
- 容器フタを開ける時に、パッキンが外れることがありますが、異常ではありません。

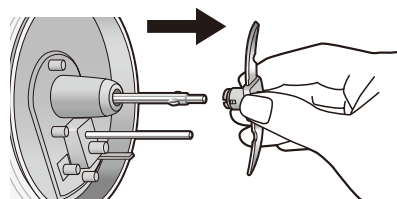
# 使用後の洗浄とお手入れ

調理後に各部品は、乾かないうちにきれいに洗ってください。  
また、洗った後は十分に乾燥させてから保管してください。

## カッター・パッキンのはずし方

### ■ 容器フタからカッターをはずす。

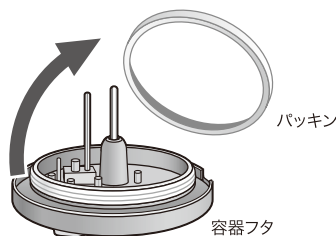
容器フタからカッターを引き抜きます。



カッターの刃は鋭利ですので、直接手を触れないでください。けがをすることがあります。

### ■ 容器フタからパッキンをはずす。

パッキンを少し広げながら、容器フタからはずします。  
※パッキンの汚れが目立つときは、はずして洗ってください。

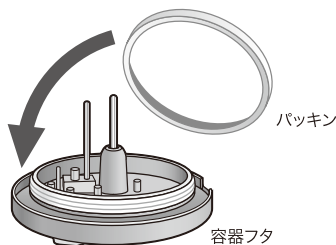


先にカッターを取り外してから作業してください。けがをすることがあります。

## カッター・パッキンの取り付け方

### ■ パッキンを取り付ける。

容器フタを裏返しにして台の上に置き、パッキンを少しずつずらしながら、押し込みます。



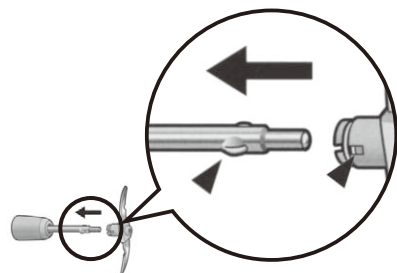
※パッキンは、奥まで押し込んでください。



カッターはパッキンを取り付けてから装着してください。けがをすることがあります。

### ■ カッターを取り付ける。

カッターの切り込みと、容器フタの軸の突起部を合わせ、「カチン」と音がするまで押し込みます。



カッターの刃は鋭利ですので、直接手を触れないでください。けがをすることがあります。

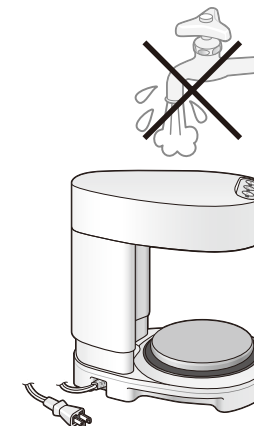
## 本体のお手入れ

### ■ 電源プラグを抜き、硬くしぼったふきんなどで、汚れ、ゴミなどを拭き取ってください。

ヒーターの汚れは、十分温度が下がってからしっかりと拭き取ってください。  
また、水滴や汚れが残っていると、ヒーターの熱が容器に伝わらずにエラーの原因となるおそれがあります。



- 調理終了後はヒーターが熱くなっています。十分温度が下がってからお手入れを行ってください。(周囲の環境によりませんが、30分～1時間を目安にしてください)
- 本体の丸洗いは絶対にしないでください。内部に水が入って、使用できなくなることがあります。



## 各部品を洗うときの留意点

### ■ 容器フタ

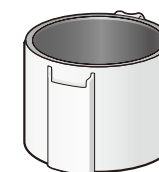
- カッターをはずした容器フタは、食器用洗剤とやわらかいスポンジを使用して洗浄してください。



容器フタ

### ■ 容器・パッキン・カッター

- 容器は食器用洗剤とやわらかいスポンジを使用して洗浄してください。
- カッターは、水に浸した後、洗浄してください。
- パッキンは、容器フタからはずして、食器用洗剤で洗ってください。



容器



パッキン



カッター

※容器は、水アカや水の中の鉄分の酸化により表面が変色したりしますので、こまめにお手入れをしてください。  
※フタや樹脂部分、パッキンなどは食材の色素により着色することがありますが、漂白剤などは使用しないでください



## 使用後のご注意

- ご使用後はヒーターに余熱が残っています。お手入れはやけどをしないように、ヒーターの温度が十分に下がってから、お手入れしてください。
- 汚れたままにしますと不衛生になったり、サビ、コゲ、カビなどの原因となります。また、乾くと汚れが落ちにくくなります。十分に洗い流して、水分を拭き取ってから保管してください。
- お手入れには、シンナー類、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきん、漂白剤などは使用しないでください。
- 本体、容器、容器フタを食器洗い機や食器乾燥機で洗浄しないでください。樹脂部分が高温で変形することがあります。

<p><b>音が大きい</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● かたい材料を粉碎する時、大きな音や振動が発生しますが異常ではありません。</li> <li>● 本器の設置場所は平らで安定した場所でご使用ください。</li> </ul>
<p><b>粉碎が粗い</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しい分量でご使用しているかご確認ください。</li> <li>● 野菜の種類やカットの大きさにより、粉碎されないことがあります。</li> <li>➡ かたい野菜(にんじんなど)はなるべく細かくカットするか、レンジで加熱して下ごしらえをするようにしてください。</li> </ul>
<p><b>泡が吹き出る</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● あくの出る野菜は、下ゆでしてからご使用ください。</li> <li>● 冷凍された食材を使用していますか？</li> <li>➡ 冷凍ものを使用した場合、設定時間内に沸騰しないため、温度が上昇せず大量の泡が発生することがあります。材料は完全に解凍してからご使用ください。</li> <li>● 正しい分量でご使用しているかご確認ください。</li> <li>● おかゆの場合はお米をよく研いでください。</li> </ul>
<p><b>異臭がする 容器がこげる</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しい分量でご使用しているかご確認ください。</li> <li>● 少ない水で使用していませんか？(水の量はレシピブックをご確認ください)</li> <li>● 電源に異常はありませんか？</li> <li>● 牛乳や、脂肪分の多いものを入れていませんか？</li> </ul>
<p><b>本体上部を 押し下げても 電源が入らない</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグは、コンセントに差し込まれていますか？ ※電源プラグはコンセントにしっかりと差し込んでください。</li> <li>● 配電盤のブレーカーが落ちていたり、停電になっていませんか？</li> <li>● 本体上部がセット位置まで下がった状態でロックされていますか？ ※容器フタの位置がずれていると本体上部がセット位置まで下がらず、安全スイッチが入らないことがあります。</li> <li>● 本体に水が掛かったり、水の中に浸かったりしたことがありますか？ ➡ お買い上げの販売店にご相談ください。</li> </ul>
<p><b>ブザーと共に ランプが 点滅する</b><sup>※</sup></p>	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 左のランプ(スープ)が点滅する。 ➡ 容器フタの端子部分が汚れたり濡れたりしていませんか？ フタをよく乾かしてからご使用ください。</li> <li>● 左と中央のランプ(スープと食べるスープ)が点滅する。 ➡ 分量が多くありませんか？ 容器フタの端子部分が汚れたり濡れたりしていませんか？</li> <li>● 全てのランプが点滅する。 ➡ 水を入れ忘れていませんか？ 連続して使用していませんか？ 容器の底面とヒーターに水滴やゴミが付着していませんか？</li> </ul> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p><b>注意</b> ⚠</p> <p>全てのランプが点滅している場合はヒーター部が高温になっているため、やけどにご注意ください。 また、容器の樹脂部分がヒーターに触れますと容器が変形する恐れがありますので、ご注意ください。</p> </div>
<p><small>※調理終了後はランプが点滅します。 ※エラー表示については、「エラー表示」(14ページ)を参照してください。</small></p>	

■調理状態／エラー表示

調理の状態	ランプの状態			ブザー	表示内容
	スープ	食べるスープ	おかゆ		
電源投入時	点灯	点灯	点灯	ピー(1秒×1回)	調理開始時異常なし
スープ	点灯	—	—	ピー(1秒×1回)	調理開始～調理中
	点滅	—	—	ピー(3秒×1回)	調理終了
食べるスープ	—	点灯	—	ピー(1秒×1回)	調理開始～調理中
	—	点滅	—	ピー(3秒×1回)	調理終了
おかゆ	—	—	点灯	ピー(1秒×1回)	調理開始～調理中
	—	—	点滅	ピー(3秒×1回)	調理終了
エラー表示	点滅	—	—	ピッ、ピッ(繰り返し)	温度センサ異常
	点滅	点滅	—	ピッ、ピッ(繰り返し)	水量過多
	点滅	点滅	点滅	ピー(鳴り続ける)	ヒーター過熱

上記以外エラーが表示された際には、電源プラグを抜き、販売店又はゼンケンサービス係までお問合せください。

■交換用部品について

次の交換用部品をご用意しております。  
交換用部品のお求めは、お買い上げの販売店までお問合せください。



カッター

パッキン

■製品仕様

※機能改善等により仕様の一部を予告なく変更する場合があります。

品名	野菜スープメーカー	電源コード	約1.4m
型式名	ZSP-3	生産国	日本
定格電圧	AC100V 50/60Hz	材質	本体外部：ポリプロピレン樹脂、ABS樹脂 容器フタ：ポリプロピレン樹脂、ポリアミド樹脂 容器：ステンレス、ポリプロピレン樹脂 カッター：ステンレス、ポリアミド樹脂 パッキン：シリコンゴム
消費電力	ヒーター 700W / モーター 180W		
調理時間	約30分		
製品寸法	幅174×奥行280×高さ239 mm		
重量	約3kg		

長年ご使用の場合は点検を！

愛情点検



こんな症状はありませんか？

- 時々運転しないことがある。
- 電源コードを動かすと通電したりしないことがある。
- 運転中に異常な音がする。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 電源プラグ、電源コード、本体が異常に熱い。
- その他異常・故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、  
電源プラグを抜き販売店又はゼンケンサービス係にご相談ください。